

富士山に見守られ、

駿河湾や愛鷹山など豊かな自然に恵まれた沼津市。

中心市街地には商業やサービス業が集中していますが、

その周辺には農業や漁業、畜産業など

「食」を支える産業に取り組んでいる人がたくさんいます。

その中に、自分たちの作ったものを直接消費者に届けたいという思いから、

新たな取り組みに挑戦している生産者がいます。

そんな「スマズのツクリテ」の皆さんを紹介します。

6次産業化・ 農水商工連携とは

農林水産物などの地域資源を有効に活用し、農林漁業者（1次産業従事者）がこれまでの原材料供給だけでなく、自ら連携して加工（2次産業）・流通や販売（3次産業）に取り組み、経営の多角化と健全化を進めることで、農山漁村の雇用確保や所得の向上を目指すことを

1次×2次×3次＝6次産業化といいます。

また、農林漁業者と商工業者がお互いの技術やノウハウを持ち寄り、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むことを、農商工連携といいます。こうした6次産業化や農商工連携の取り組みは、地域の活性化につながる事が期待されています。

6次産業化



所得向上
(付加価値・利益)
雇用の場の創出
地域の活性化

1次産業×2次産業×3次産業＝6次産業